【資料４】　みよし市認知症施策検討作業部会について

◆「地域での居場所作りについて」アンケート集計結果（※資料５参照）

アンケート実施期間：平成２９年9月1日～平成２９年10月31日まで
回答数　　：５３６人

※回答者からの意見・感想（一部抜粋）

・少しのお手伝いならボケ防止になると思う。
・年寄りの集まりなので、あまり難しい役割を持たせないように気軽に参加できることが望ましい。
・近隣の方々と話し合う機会が必要だと思う。シニアの人だけでなく、若い方々と一緒に活動できたらよい。
・誘われると参加しますが、自発的には二の足を踏んでしまいます。

分析・考察

・アンケート回答者に偏りがある
・認知症に対する知識を学ぶ機会は需要がある
・集まりなどに対して誘いがあれば、参加する意欲はある
・ボランティアなどで簡単な役割をこなしてもらうことは可能だが、会の中心となるリーダー的役割を担える人が少ない

◆みよし市版認知症カフェ

●対象者

認知症になる前の人から軽度認知障害の人
・病院未受診の方
・認知症診断がついていない方
・最近物忘れなどが目立ってきた方　　など

●認知症カフェ設置目的

１．認知症に対する知識の獲得
２．早期からの医療機関受診・支援者の介入
３．専門職・病院の紹介や連携支援
４．介護者家族に対する介護・対応方法の支援・相談対応
５．地域住民の支え合い体制の構築　　など

●地区ごとの活動状況

・きたよし地区
　認知症カフェ「オリーブ」・・・認知症地域支援推進員を配置。
　認知症予防・意識付けができるような内容に変更。
　例）コグニサイズ・認知症クイズ・脳トレ・３B体操　など
・なかよし地区
　社協で担い手作りを実施。
・みなよし地区
　相談支援中心のカフェとして「みなよしカフェ」設置を計画。
　担い手募集のチラシを作成。

◆来年度以降の計画

・認知症カフェ・・・・各地区で特色別の認知症カフェの設置。
　　きたよし地区・みなよし地区の認知症カフェの運営・設置状況の確認、評価を実施。
・認知症ケアパスの内容や認知症サポーター養成後の活躍の場作りについて検討